

総合戦略事業シート							No.	①	
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業			(2) 新規・拡充事業		(3) ふるさと応援基金充当・地方債活用事業			
施策体系	横断・基本目標	VI. 人と人がつながり、支え合うまち							
	基本施策	4. 移住・定住の促進							
	具体施策	①U・Iターンの支援							
総合戦略	戦略体系	基本戦略3_益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる							
	主要施策	(1) U・Iターンの推進							
進捗管理	目標指標	県外からのU・Iターン者数							
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標					200人/円	215人/年	230人/年	94.3%
	実績	162人/年	162人/年	165人/年	217人/年				
具休事業	事業名称	益田市版「ツナガル」事業費			担当部署	政策企画局政策企画課			
事業概要	<p>県外の大学等に進学後、就職活動が始まるまでの間、地元とのつながりが希薄になり、Uターン就職への関心や情報量が低下していることから、訴求力のある情報の発信やインターンシップ制度の導入などの活動機会の提供等により、学生の市内就職を促進する取組を経年的（令和4年度～令和7年度）に実施する。（県モデル事業として採択済）</p> <p>①オンラインでつながる事業（LINEを活用したコミュニティづくりとLINE掲載記事の作成及び情報発信）</p> <p>②ひとつづくりでつながる事業（インターンシップ制度導入のための受入企業の掘り起し及び受入プログラム作成支援）</p> <p>③東京・大阪拠点でつながる事業（ライフキャリア教育により培った経験や県外で得た知識等を活かせる場、故郷の様々な情報を得ることができる場として拠点を開設）</p>								
事業検証 (R4)	【現状】	<p>○令和4年度から県のモデル事業として上記①～③の事業を実施</p> <p>①情報発信の基盤となるLINE公式アカウント「ますだより」の運用を開始した。 (R5年3月末：高校3年生516名の内、140名が登録)</p> <p>②益田版インターンシップ（就業体験＋ライフキャリア体験）の受入サポートを希望する8事業所からエントリーを受けた。 (夏：市内8社参加で受入5名、春：市内3社参加で受入3名)</p> <p>③活動拠点となる場所の選定（事業者選定）と拠点の開設イベントを開催 (東京拠点：18名参加、大阪拠点：2名参加)</p>					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	<p>①利用者登録については、各高校において随時説明会を実施し、高校3年生への利用登録を呼びかけたが、受験シーズンを考慮した調整が必要であった。</p> <p>②益田版インターンシップを活用した学生の受入までには至っていない。（情報発信不足、学生にとって魅力を感じにくい内容）</p> <p>③イベントの開催時期について、学生の引越し時期と重なり参加者確保に苦慮した。</p>						課題把握	B
	【対策】	<p>①高校1・2年生の早い段階から登録の周知を行う。また魅力的なコンテンツを学生の意見も取り入れて掲載する予定</p> <p>②インターンシップのモニター調査を継続的に実施し、受入プログラムをブラッシュアップする。（受入企業側の意識改革にもつなげる）</p> <p>③令和5年度より具体的に交流イベントを開催するとともに、拠点のニーズ調査も行い拠点運営に反映させる</p>						対応策検討	B
積算根拠 (R5)	<p>○報償費（インターンシップモニター謝礼）50千円</p> <p>○旅費（県庁での報告会、県内事業者等との協議、東京・大阪拠点での打合せ・イベント参加、インターンシップモニターへの費用弁償）903千円</p> <p>○需用費（消耗品費、印刷製本費）170千円</p> <p>○委託料（卒業生コミュニティ構築事業委託料、インターンシップ制度運営事業委託料、県外拠点化推進事業委託料）7,270千円</p> <p>○使用料及び賃借料（LINE等使用料）174千円</p>							費用対効果	C
事業費 (単位：千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	6,825	8,567	8,567	8,567				
	国庫支出金	1,630	1,750	1,750	1,750				
	県支出金	3,261	3,500	3,500	3,500				
	地方債								
	その他	1,934	3,317	3,317	3,317				
	うち		3,317	3,317	3,317				
	ふるさと応援基金								
	うち								
	地域振興基金								
	一般財源								
財源説明	地方創生推進交付金（国R4～R7）、県内高校卒業生とのつながり創出事業補助金（県R4～R7）、ふるさと応援基金繰入金								

総合戦略事業シート							No.	②	
評価対象事業分類					(2) 新規・拡充事業	(3) ふるさと応援基金充当・地方債活用事業			
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち							
	基本施策	3. 雇用・産業基盤の強化							
	具体施策	③次代を担う若者の地元就職の促進と定着支援							
総合戦略	戦略体系								
	主要施策								
進捗管理	目標指標								
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標 実績	単年							
具体事業	事業名称	理数系人材育成協働事業費（松江高専）			担当部署	産業経済部産業支援センター			
事業概要	<p>松江工業高等専門学校（以下、「松江高専」という。）との協定に基づき、市内小中学生の理数系への関心を高めるとともに、松江高専と市内企業との連携を促進することで、地域産業の振興を図る。</p> <p>【事業内容】</p> <p>①松江高専による市内での工作教室の開催 ②松江高専の施設等見学（児童、保護者、教員、企業） ③小中学校教員等の指導者育成を含めた支援体制の確立</p>								
事業検証 (R4)	【現状】	○工作教室の開催（7月、9月、12月 計3回）参加者のべ 74人 ○高専見学の開催 ○インターシップ 松江高専生 9人、受入企業 5社 ○市内企業との交流 連携企業数 12社					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	○インターンシップの受入申込企業の増加と学生とのマッチングが必要。 ○工作教室以外でのつながりづくりも必要。						課題把握	B
	【対策】	○松江高専生との「つながり」を深めるために、令和4年度途中から「算数数学パワーアップ教室」へ参加することとした。						対応策検討	B
積算根拠 (R5)	○報償費 講師謝礼（算数数学パワーアップ） 275千円（5千円×のべ11日×5人） ○旅費 費用弁償（算数数学パワーアップ） 362千円 費用弁償（指導員教育育成） 59千円（14,620円×2回×2人） 普通旅費（職員） 74千円（14,620円×5回） ○需用費 事務消耗品 34千円 チラシ等作成 50千円 ○委託料 松江高専連携事業委託料 1,000千円 ○使用料及び賃借料 バス（1台）借上料 271千円 講師宿泊代（算数数学パワーアップ） 375千円					費用対効果	B		
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	1,832	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500	
	国庫支出金	500	500						
	県支出金								
	地方債								
その他	1,332	2,000	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500		
	うち								
	ふるさと応援基金	2,000	2,500	2,500	2,500	2,500	2,500		
	うち								
	地域振興基金								
一般財源									
財源説明	国庫支出金：地方創生推進交付金 その他：地方創生応援税制寄付金（R4）、ふるさと応援基金繰入金（R5～）								

総合戦略事業シート							No.	③		
評価対象事業分類							(3) ふるさと応援基金充当・地方債活用事業			
施策体系	横断・基本目標	Ⅱ. ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち								
	基本施策	1. 次代を担う人材の育成・確保の推進								
	具体施策	⑧益田市型中高一貫教育の推進								
総合戦略	戦略体系									
	主要施策									
進捗管理	目標指標									
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率	
	目標 実績	単年								
具体事業	事業名称	理数系人材育成協働事業（島根大学）			担当部署	教育委員会学校教育課				
事業概要	<p>長期休業中11日間、市内各所において小学校4年生から中学校3年生の希望者を集めて、島根大学の学生を講師に迎え、算数・数学パワーアップ教室を行った。各長期休業中の宿題や教育委員会で用意した算数・数学プリントを、大学生に教わりながら解いていった。大学生の企画した活動を通して交流も図った。</p> <p>夏季休業：市民学習センター・美都・安田 冬季休業：市民学習センター・横田 学年末休業：市民学習センター・中西</p>									
事業検証 (R4)	【現状】	R3年度から取り組んでいる事業。各地区とも15名から30名程度の児童生徒が参加している。大学生も15名募集し、継続して応募する学生もいる。					R4 に対する 自己評価	現状把握	B	
	【課題】	市民学習センターと市内の他地区の組み合わせで事業を行っている。小学校校区すべてで実施することは難しいが、未実施の地区での実施を求める声がある。						課題把握	B	
	【対策】	R5年度は、今まで実施していない小野地区と鎌手地区で実施予定である。						対応策検討	B	
積算根拠 (R5)	報償費	算数・数学パワーアップ教室講師謝礼	950千円						費用 対 効果	B
	旅費	会議・視察旅費	143千円							
	需用費	算数・数学パワーアップ教室講師費用弁償	3,447千円							
	使用料及び賃借料	消耗品 バス借上料	125千円 335千円							
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間							
			第2期総合戦略対象期間							
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
		総事業費	2,754	5,000						
		国庫支出金	1,110	2,428						
		県支出金								
		地方債								
		その他	1,644	2,572						
		うち	2,572							
		うち								
		うち								
	一般財源	0	0							
財源説明	国庫支出金（地方創生推進交付金）、その他（地方創生応援税制寄付金）									

総合戦略事業シート							No.	④	
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業		(2) 新規・拡充事業						
施策体系	横断・基本目標	I. 子育てにやさしく、誰もが健やかに暮らせるまち							
	基本施策	1. 結婚・出産・子育ての支援							
	具体施策	②地域ぐるみの子育て支援の推進と学びや活動の場の創出							
総合戦略	戦略体系	基本戦略2_結婚・出産・子育ての希望をかなえる							
	主要施策	(3) 子育てや教育を支える人材の育成							
進捗管理	目標指標	つろうて子育て協議会実施回数							
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標				440	460	480	500	354.8%
	実績	391	1,537	1,389	1,561				
具体事業	事業名称	未来の担い手育成事業費			担当部署	教育委員会協働のひとつづくり推進課			
事業概要	<p>子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、教育に求められるものも変化している。こうした中、子どもたちの生き抜く力を育てるためには、学校だけで教育を担うのではなく地域総がかりで子どもを育てる必要があり、これらをコーディネートする専門人材の配置及び地域団体の活動を支援する。</p> <p>また、この取り組みを持続可能とするため、関わる大人の学びと繋がりづくりを推進する。</p>								
事業検証 (R4)	【現状】	つろうて子育て協議会が地域自治組織と連携した特徴的な事業が生まれた。益田地区「スマイル・マスロク」：ふれあい部会と小学校の6年生有志が、地域住民が笑顔になることを目的に実施。小野地区「おの産直市」：生涯学習・産業部会が、ビンゴ大会など、子どもを中心に据えた活動を実施。二条地区「つーきゃん」つろうて班と公民館が協働し、親子でふれあうキャンプを実施。					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	特徴的な取り組みが生じている地区は未だ限定的である。						課題把握	B
	【対策】	地域づくりとひとつづくりが両輪となり、持続可能な地域づくりを実現するため、事業成果に記載した地区以外の地区でも、地域・世代を超えた学習機会と活動づくりが行われるよう連携のまちづくり推進課と連携し、具体的・計画的に支援を行う。						対応策検討	A
積算根拠 (R5)	<<事業概要>> ①ひとが育つまち益田フォーラムの開催 ②社会教育コーディネーターの配置 ③地域活動づくり業務（各地区つろうて子育て協議会への委託）、ふるさと教育等の補助金交付 ④ボランティアハウスの運営（ボランティアハウス協議会への委託） <<積算根拠（主なもの）>> ①講師謝礼150,000円＋費用弁償266,940円＝416,940円 ②300,000円×12月×6名＝21,600,000円 ③つろうて1,400,000円＋ふるさと1,680,000円＝3,080,000円 ④5,499,400円 ほか					費用対効果	B		
事業費 (単位：千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	28,454	35,693	35,693	35,693	35,693	35,693	35,693	
	国庫支出金	7,293	10,959	10,959	10,959	10,959	10,959	10,959	
	県支出金	9,735	9,905	9,905	9,905	9,905	9,905	9,905	
	地方債								
	その他	11,426	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	
	うち ふるさと応援基金	11,426	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	
	うち 地域振興基金								
	一般財源								
財源説明	国：地方創生推進交付金/県：ふるさと教育推進事業交付金、しまねすくすく子育て支援事業費交付金、結集しまねの子育て協働プロジェクト事業費補助金、ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営費補助金								

総合戦略事業シート							No.	⑤	
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業		(2) 新規・拡充事業						
施策体系	横断・基本目標	Ⅱ. ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち							
	基本施策	1. 次代を担う人を育てる教育環境の充実							
	具体施策	①地域ぐるみでの教育推進							
総合戦略	戦略体系	基本戦略2_結婚・出産・子育ての希望をかなえる							
	主要施策	(2) 学力の育成や教育環境の整備・魅力化の推進							
進捗管理	目標指標	学校の学びを地域活動に活かす取り組みの実施地区数							
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標 実績	単年			14	16	18	20	142.9%
具体事業	事業名称	未来の担い手育成事業費			担当部署	教育委員会協働のひとつづくり推進課			
事業概要	<p>子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、教育に求められるものも変化している。こうした中、子どもたちの生き抜く力を育てるためには、学校だけで教育を担うのではなく地域総がかりで子どもを育てる必要があり、これらをコーディネートする専門人材の配置及び地域団体の活動を支援する。</p> <p>また、この取り組みを持続可能とするため、関わる大人の学びと繋がりづくりを推進する。</p>								
事業検証 (R4)	【現状】	学校の学びを地域活動に活かす取り組みを推進するためには、学校内に専門的な知見（有資格者）を有する人材（社会教育コーディネーター）を配置することが重要であり、計画的に配置を進めている。					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	社会教育コーディネーターの要件である、教員資格を有する（または、取得予定。）人材の確保に苦慮している。						課題把握	B
	【対策】	つろうて子育て協議会をはじめ、地域の受け皿が整った校区からコミュニティ・スクール化を図っているところ。コミュニティ・スクール化については地域側の体制が整った地区から指定する方針であるが、社会教育コーディネーターの配置については、上述の課題への対応また予算の確保の見込みを含め、そのあり方も含め、検討したい。						対応策検討	C
積算根拠 (R5)	<p>《事業概要》</p> <p>①ひとが育つまち益田フォーラムの開催 ②社会教育コーディネーターの配置 ③地域活動づくり業務（各地区つろうて子育て協議会への委託）、ふるさと教育等の補助金交付 ④ボランティアハウスの運営（ボランティアハウス協議会への委託）</p> <p>《積算根拠（主なもの）》</p> <p>①講師謝礼150,000円＋費用弁償266,940円＝416,940円 ②300,000円×12月×6名＝21,600,000円 ③つろうて1,400,000円＋ふるさと1,680,000円＝3,080,000円 ④5,499,400円 ほか</p>							費用対効果	B
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	28,454	35,693	35,693	35,693	35,693	35,693	35,693	
	国庫支出金	7,293	10,959	10,959	10,959	10,959	10,959	10,959	
	県支出金	9,735	9,905	9,905	9,905	9,905	9,905	9,905	
	地方債								
その他	11,426	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829		
	うち ふるさと応援基金	11,426	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	
	うち 地域振興基金								
	一般財源								
財源説明	<p>国：地方創生推進交付金/県：ふるさと教育推進事業交付金、しまねすくすく子育て支援事業費交付金、結集しまねの子育て協働プロジェクト事業費補助金、ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営費補助金</p>								

総合戦略事業シート							No.	⑥	
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業		(2) 新規・拡充事業						
施策体系	横断・基本目標	VI. 人と人がつながり、支え合うまち							
	基本施策	4. 移住・定住の促進							
	具体施策	①U・Iターンの支援							
総合戦略	戦略体系	基本戦略3_益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる							
	主要施策	(1) U・Iターンの推進							
進捗管理	目標指標	「将来益田に住みたい」と答えた新成人の割合							
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標				80	80	80	80	101.1%
	実績	69	76.9	72.9	80.9				
具体事業	事業名称	未来の担い手育成事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課			
事業概要	<p>子どもたちを取り巻く環境の変化に伴い、教育に求められるものも変化している。こうした中、子どもたちの生き抜く力を育てるためには、学校だけで教育を担うのではなく地域総がかりで子どもを育てる必要があり、これらをコーディネートする専門人材の配置及び地域団体の活動を支援する。</p> <p>また、この取り組みを持続可能とするため、関わる大人の学びと繋がりづくりを推進する。</p>								
事業検証 (R4)	【現状】	同数値は成人式参加者を対象に調査。成人者はライフキャリア教育プログラムを受けた世代であり、数値は増加傾向にある。					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	高校卒業後、成人式を迎えるまでは帰益の意識が高いと考えられるが、その後、就職先の地域として益田市が選択されていない状況が伺える。						課題把握	B
	【対策】	益田で暮らしたいという意識の変容を行動（一度は益田を出ても、将来益田に帰ってくること。）につなげる。具体的にはR4年度から4年間実施する県モデル事業である益田市版「ツナガル」事業を中心に取り組む。						対応策検討	A
積算根拠 (R5)	<<事業概要>> ①ひとが育つまち益田フォーラムの開催 ②社会教育コーディネーターの配置 ③地域活動づくり業務（各地区つらうて子育て協議会への委託）、ふるさと教育等の補助金交付 ④ボランティアハウスの運営（ボランティアハウス協議会への委託） <<積算根拠（主なもの）>> ①講師謝礼150,000円＋費用弁償266,940円＝416,940円 ②300,000円×12月×6名＝21,600,000円 ③つらうて1,400,000円＋ふるさと1,680,000円＝3,080,000円 ④5,499,400円 ほか					費用 対 効果	B		
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	28,454	35,693	35,693	35,693	35,693	35,693	35,693	
	国庫支出金	7,293	10,959	10,959	10,959	10,959	10,959	10,959	
	県支出金	9,735	9,905	9,905	9,905	9,905	9,905	9,905	
	地方債								
その他	11,426	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829		
	うち ふるさと応援基金	11,426	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	14,829	
	うち 地域振興基金								
	一般財源								
財源説明	国：地方創生推進交付金/県：ふるさと教育推進事業交付金、しまねすくすく子育て支援事業費交付金、結集しまねの子育て協働プロジェクト事業費補助金、ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営費補助金								

総合戦略事業シート							No.	⑦	
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業								
施策体系	横断・基本目標	社会変化に対応できる持続可能なまち							
	基本施策	1. 次代を担う人材の育成・確保の推進							
	具体施策	①将来の益田市を担う人材育成の推進							
総合戦略	戦略体系	横断戦略_社会変化に対応できる持続可能なまちをつくる							
	主要施策	(1) 次代を担う人材の育成・確保の推進							
進捗管理	目標指標	「益田市には魅力的な大人が多い」と答えた新成人の割合							
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標 実績	単年			80	80	80	80	116.8%
具体事業	事業名称	ひとづくり推進事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課			
事業概要	「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、多様な人との対話によるロールモデルとの出会いや、生き様・価値観に触れることで、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を養うライフキャリア教育を推進し、子どもたちの生きる力の育成を図る。また、ライフキャリア教育に市外の若者が関わる機会をつくることで、「若者がチャレンジできる益田」のイメージ定着を図る。								
事業検証 (R4)	【現状】	同数値は成人式参加者を対象に調査。成人者はライフキャリア教育プログラムを受けた世代であり、数値は増加傾向にある。					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	特になし						課題把握	B
	【対策】	引き続き、ライフキャリア教育の推進によるロールモデルとの出会い・対話により、益田の子どもたちに予測不能な未来を生き抜く力をつけ、未来の担い手育成につなげる。						対応策検討	A
積算根拠 (R5)	<<事業概要>> ①小中高生ライフキャリア教育推進事業業務委託、ロールモデル接続事業業務委託の実施（プロポーザル） ②教育魅力化コーディネーター事業業務委託の実施（プロポーザル） ③JAFこころのプロジェクト「夢の教室」の実施 <<積算根拠（主なもの）>> ①16,498,000円 ②300,000円×12月=3,600,000円 ③2,000,000円 ほか					費用対効果		B	
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	22,514	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	
	国庫支出金	8,302	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	
	県支出金	3,757	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	
	地方債								
	その他	10,455	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	
	うち ふるさと応援基金	2,749	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622		
	うち 地域振興基金								
	一般財源								
財源説明	国：地方創生推進交付金／県：ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営マネージャー配置費補助金／その他：地方創生応援税制寄付金								

総合戦略事業シート							No.	⑧	
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業								
施策体系	横断・基本目標	社会変化に対応できる持続可能なまち							
	基本施策	1. 次代を担う人材の育成・確保の推進							
	具体施策	①将来の益田市を担う人材育成の推進							
総合戦略	戦略体系	横断戦略_社会変化に対応できる持続可能なまちをつくる							
	主要施策	(1) 次代を担う人材の育成・確保の推進							
進捗管理	目標指標	益田市で地域活動をした県外の若者の延べ人数(上段)と満足度(下段)							
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標				260人 80%	270人 80%	280人 80%	300人 80%	24.6%
	実績	単年 269人 -	221人 -	225人 88.5%	64人 80.0%				100%
具体事業	事業名称	ひとづくり推進事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課			
事業概要	<p>「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、多様な人との対話によるロールモデルとの出会いや、生き様・価値観に触れることで、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を養うライフキャリア教育を推進し、子どもたちの生きる力の育成を図る。また、ライフキャリア教育に市外の若者が関わる機会をつくることで、「若者がチャレンジできる益田」のイメージ定着を図る。</p> <p>MSDPC-337: R4予算より「市内高校連携推進事業」へ移管</p>								
事業検証 (R4)	【現状】	同数値は私立高等学校魅力化活動補助金を活用する市内私立2校の補助事業への参加生徒のうち、県外出身者の人数をカウント。補助事業として実施した事業について、それ自体の参加者が例年より少なく、県外出身者の人数も少なくなった。					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	補助事業の効果測定の手法。						課題把握	B
	【対策】	同補助事業は継続しつつ、効果測定の手法について、例えば益田市版「ツナガル」事業関西拠点の活用について模索する。						対応策検討	B
積算根拠 (R5)	<<事業概要>> ①小中高生ライフキャリア教育推進事業業務委託、ロールモデル接続事業業務委託の実施（プロポーザル） ②教育魅力化コーディネーター事業業務委託の実施（プロポーザル） ③JAFこころのプロジェクト「夢の教室」の実施 <<積算根拠（主なもの）>> ①16,498,000円 ②300,000円×12月=3,600,000円 ③2,000,000円 ほか							費用対効果	B
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	22,514	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	
	国庫支出金	8,302	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	
	県支出金	3,757	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	
	地方債								
	その他	10,455	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	
	うち ふるさと応援基金	2,749	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622		
	うち 地域振興基金								
	一般財源								
財源説明	国：地方創生推進交付金／県：ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営マネージャー配置費補助金／その他：地方創生応援税制寄付金								

総合戦略事業シート							No.	⑨	
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業								
施策体系	横断・基本目標	社会変化に対応できる持続可能なまち							
	基本施策	1. 次代を担う人材の育成・確保の推進							
	具体施策	①将来の益田市を担う人材育成の推進							
総合戦略	戦略体系	横断戦略_社会変化に対応できる持続可能なまちをつくる							
	主要施策	(1) 次代を担う人材の育成・確保の推進							
進捗管理	目標指標	益田市で一週間程度、インターンシップや体験活動した延べ人数(上段)と満足度(下段)							
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標				30人 80%	30人 80%	30人 80%	30人 80%	70% 125%
	実績	30人 -	11人 -	14人 96%	21人 100%				
具体事業	事業名称	ひとづくり推進事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課			
事業概要	「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、多様な人との対話によるロールモデルとの出会いや、生き様・価値観に触れることで、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を養うライフキャリア教育を推進し、子どもたちの生きる力の育成を図る。また、ライフキャリア教育に市外の若者が関わる機会をつくることで、「若者がチャレンジできる益田」のイメージ定着を図る。								
事業検証 (R4)	【現状】	中間支援組織におけるインターンの受け入れ数及び大学生等フィールドワーク推進事業補助金活用件数をカウント。それぞれ実績は、7名、14名であった。					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	大学生等フィールドワーク推進事業補助金について、積極的な利用促進に向けた情報発信が必要。(予算上25名分を措置。)						課題把握	B
	【対策】	中間支援組織における継続的なインターン受け入れに向けたリクルート活動の実施及び大学生等フィールドワーク推進事業補助金の利用促進を図る。						対応策検討	B
積算根拠 (R5)	<<事業概要>> ①小中高生ライフキャリア教育推進事業業務委託、ロールモデル接続事業業務委託の実施(プロポーザル) ②教育魅力化コーディネーター事業業務委託の実施(プロポーザル) ③JAFこころのプロジェクト「夢の教室」の実施 <<積算根拠(主なもの)>> ①16,498,000円 ②300,000円×12月=3,600,000円 ③2,000,000円 ほか					費用対効果		B	
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	22,514	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	
	国庫支出金	8,302	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	
	県支出金	3,757	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	
	地方債								
	その他	10,455	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	
	うち ふるさと応援基金	2,749	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622	
	うち 地域振興基金								
	一般財源								
財源説明	国: 地方創生推進交付金/県: ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営マネージャー配置費補助金/その他: 地方創生応援税制寄付金								

総合戦略事業シート							No.	⑩		
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業									
施策体系	横断・基本目標	Ⅱ. ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち								
	基本施策	1. 次代を担う人を育てる教育環境の充実								
	具体施策	①地域ぐるみでの教育推進								
総合戦略	戦略体系	基本戦略3_益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる								
	主要施策	(2) ふるさと教育・ライフキャリア教育による人材育成								
進捗管理	目標指標	ライフキャリア教育に関わる大人の数(益田版カтары場、新・職場体験、中間支援組織)								
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率	
	目標 実績	単年			700	800	900	1,000	567.4%	
具体事業	事業名称	ひとづくり推進事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課				
事業概要	「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、多様な人との対話によるロールモデルとの出会いや、生き様・価値観に触れることで、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を養うライフキャリア教育を推進し、子どもたちの生きる力の育成を図る。また、ライフキャリア教育に市外の若者が関わる機会をつくることで、「若者がチャレンジできる益田」のイメージ定着を図る。									
事業検証 (R4)	【現状】	ライフキャリア教育プログラムの実施により、ロールモデルである多様な人との対話を通し、その生き様・価値観に触れることで、子どもたちの生きる力の育成を図った。						R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	事業の実施がいかに子どもたちの生きる力の育成や、人材の還流、持続可能な地域づくりにつながったか、という視点に着目し、事業展開する必要がある。							課題把握	B
	【対策】								対応策検討	B
積算根拠 (R5)	<<事業概要>> ①小中高生ライフキャリア教育推進事業業務委託、ロールモデル接続事業業務委託の実施(プロポーザル) ②教育魅力化コーディネーター事業業務委託の実施(プロポーザル) ③JAFこころのプロジェクト「夢の教室」の実施 <<積算根拠(主なもの)>> ①16,498,000円 ②300,000円×12月=3,600,000円 ③2,000,000円 ほか							費用対効果	B	
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間							
			第2期総合戦略対象期間							
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	総事業費	22,514	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105		
	国庫支出金	8,302	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619		
	県支出金	3,757	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864		
	地方債									
	その他	10,455	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622		
	うち ふるさと応援基金	2,749	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622			
	うち 地域振興基金									
	一般財源									
財源説明	国: 地方創生推進交付金/県: ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営マネージャー配置費補助金/その他: 地方創生応援税制寄付金									

総合戦略事業シート							No.	⑪		
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業									
施策体系	横断・基本目標	Ⅱ. ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち								
	基本施策	1. 次代を担う人材の育成・確保の推進								
	具体施策	⑦ライフキャリア教育の推進による生きる力の育成								
総合戦略	戦略体系	基本戦略3_益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる								
	主要施策	(2) ふるさと教育・ライフキャリア教育による人材育成								
進捗管理	目標指標	ライフキャリア教育に関わる市外の若者の数								
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率	
	目標				3	3	3	3	233.3%	
	実績	単年	-	6	7	7				
具体事業	事業名称	ひとづくり推進事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課				
事業概要	「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、多様な人との対話によるロールモデルとの出会いや、生き様・価値観に触れることで、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を養うライフキャリア教育を推進し、子どもたちの生きる力の育成を図る。また、ライフキャリア教育に市外の若者が関わる機会をつくることで、「若者がチャレンジできる益田」のイメージ定着を図る。									
事業検証 (R4)	【現状】	中間支援組織におけるインターンの受け入れ数をカウント。						R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	インターンを継続的に受け入れるための環境整備（宿舎やマルチワークの推進等）が必要。							課題把握	B
	【対策】	中間支援組織における継続的なインターン受け入れに向けたリクルート活動の実施。また、益田市のひとづくり施策やライフキャリア教育プログラムの成果の発信により、「ひとが育つまち益田」の定着を図り、対象者への興味関心の醸成を図る。							対応策検討	B
積算根拠 (R5)	<<事業概要>> ①小中高生ライフキャリア教育推進事業業務委託、ロールモデル接続事業業務委託の実施（プロポーザル） ②教育魅力化コーディネーター事業業務委託の実施（プロポーザル） ③JAFこころのプロジェクト「夢の教室」の実施 <<積算根拠（主なもの）>> ①16,498,000円 ②300,000円×12月=3,600,000円 ③2,000,000円 ほか						費用対効果		B	
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間							
			第2期総合戦略対象期間							
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	総事業費	22,514	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105		
	国庫支出金	8,302	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619		
	県支出金	3,757	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864		
	地方債									
	その他	10,455	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622		
	うち ふるさと応援基金	2,749	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622			
	うち 地域振興基金									
	一般財源									
財源説明	国：地方創生推進交付金／県：ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営マネージャー配置費補助金／その他：地方創生応援税制寄付金									

総合戦略事業シート							No.	⑫		
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業									
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち								
	基本施策	3. 雇用・産業基盤の強化								
	具体施策	③次代を担う若者の地元就職の促進と定着支援								
総合戦略	戦略体系	基本戦略 1_定住の基盤となるしごとをつくる								
	主要施策	(1) 次代の産業の担い手育成								
進捗管理	目標指標	キャリア教育に参加した企業数								
		R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 目標	R 6 目標	R 7 目標	R 4/R 7 達成率	
	目標 実績	単年			220 187	230 139	240 157	250 135	61.4%	
具体事業	事業名称	ひとづくり推進事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課				
事業概要	「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、多様な人との対話によるロールモデルとの出会いや、生き様・価値観に触れることで、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を養うライフキャリア教育を推進し、子どもたちの生きる力の育成を図る。また、ライフキャリア教育に市外の若者が関わる機会をつくることで、「若者がチャレンジできる益田」のイメージ定着を図る。									
事業検証 (R4)	【現状】	参加事業所数について、申込時点では200を超える事業所の申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、135事業所での実施となった。						R 4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	特になし							課題把握	B
	【対策】	引き続き、益田商工会議所と共催することで、市内の全ての登録事業所でライフキャリア教育の展開を目指す。							対応策検討	B
積算根拠 (R5)	<<事業概要>> ①小中高生ライフキャリア教育推進事業業務委託、ロールモデル接続事業業務委託の実施（プロポーザル） ②教育魅力化コーディネーター事業業務委託の実施（プロポーザル） ③JAFこころのプロジェクト「夢の教室」の実施 <<積算根拠（主なもの）>> ①16,498,000円 ②300,000円×12月=3,600,000円 ③2,000,000円 ほか						費用対効果		B	
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間							
			第2期総合戦略対象期間							
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10		
	総事業費	22,514	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105		
	国庫支出金	8,302	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619		
	県支出金	3,757	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864		
	地方債									
	その他	10,455	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622		
	うち ふるさと応援基金	2,749	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622			
	うち 地域振興基金									
	一般財源									
財源説明	国：地方創生推進交付金／県：ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営マネージャー配置費補助金／その他：地方創生応援税制寄付金									

総合戦略事業シート							No.	⑬		
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業									
施策体系	横断・基本目標	VI. 人と人がつながり、支え合うまち								
	基本施策	4. 移住・定住の促進								
	具体施策	①U・Iターンの支援								
総合戦略	戦略体系	基本戦略 1_定住の基盤となるしごとをつくる								
	主要施策	(1) 次代の産業の担い手育成								
進捗管理	目標指標	「将来益田に住みたい」と答えた新成人の割合								
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率	
	目標 実績	単年			80	80	80	80	101.1%	
具体事業	事業名称	ひとづくり推進事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課				
事業概要	<p>「益田市ひとづくり協働構想」に基づき、多様な人との対話によるロールモデルとの出会いや、生き様・価値観に触れることで、自分の人生を能動的に生きていくことができる力を養うライフキャリア教育を推進し、子どもたちの生きる力の育成を図る。また、ライフキャリア教育に市外の若者が関わる機会をつくることで、「若者がチャレンジできる益田」のイメージ定着を図る。</p>									
事業検証 (R4)	【現状】	同数値は成人式参加者を対象に調査。成人者はライフキャリア教育プログラムを受けた世代であり、数値は増加傾向にある。						R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	高校卒業後、成人式を迎えるまでは帰郷の意識が高いと考えられるが、その後、就職先の地域として益田市が選択されていない状況が伺える。							課題把握	B
	【対策】	益田で暮らしたいという意識の変容を行動（一度は益田を出ても、将来益田に帰ってくること。）につなげる。具体的にはR4年度から4年間実施する県モデル事業である益田市版「ツナガル」事業を中心に取り組む。							対応策検討	A
積算根拠 (R5)	<p>《事業概要》 ①ひとが育つまち益田フォーラムの開催 ②社会教育コーディネーターの配置 ③地域活動づくり業務（各地区つらうて子育て協議会への委託）、ふるさと教育等の補助金交付 ④ボランティアハウスの運営（ボランティアハウス協議会への委託） 《積算根拠（主なもの）》 ①講師謝礼150,000円＋費用弁償266,940円＝416,940円 ②300,000円×12月×6名＝21,600,000円 ③つらうて1,400,000円＋ふるさと1,680,000円＝3,080,000円 ④5,499,400円 ほか</p>						費用対効果	B		
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間							
			第2期総合戦略対象期間							
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	総事業費	22,514	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105	23,105		
	国庫支出金	8,302	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619	8,619		
	県支出金	3,757	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864	3,864		
	地方債									
その他	10,455	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622	10,622			
	うち ふるさと応援基金	2,749	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622	2,622		
	うち 地域振興基金									
	一般財源									
財源説明	<p>国：地方創生推進交付金／県：ふるさと人づくり推進事業補助金、コンソーシアム運営マネージャー配置費補助金／その他：地方創生応援税制寄付金</p>									

総合戦略事業シート						No.	⑭		
評価対象事業分類					(2) 新規・拡充事業	(3) ふるさと応援基金充当・地方債活用事業			
施策体系	横断・基本目標	Ⅱ. ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち							
	基本施策	1. 次代を担う人を育てる教育環境の充実							
	具体施策	⑧益田市型中高一貫教育の推進							
総合戦略	戦略体系	基本戦略3_益田に回帰・流入・定着するひとの流れをつくる							
	主要施策	(2) ふるさと教育・ライフキャリア教育による人材育成							
進捗管理	目標指標	中高一貫教育の推進に資する取組の数							
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率
	目標				40	40	40	40	
	実績				54	高度理数系 3回以上 農業・モノづくり 38回以上 私立高校魅力化 4回以上 中高一貫・高校連携 9回 計54回以上			135%
具体事業	事業名称	市内高校連携推進事業							
事業概要	<p>【事業目的】 小中一貫教育に接続する取組として、市内の高校の魅力化に資する取組に支援を行うとともにその取組を小中学生に発信することで、すべての子どもたちの卒業後の選択肢を増やし、益田の未来を担う子どもたちの育成を図る。</p> <p>【事業概要】 ①市内4高校の魅力化を目的とした委託事業及び補助事業を実施した ②4高校が実施する高校魅力化の取組を小中学生に発信した</p>								
事業検証 (R4)	【現状】	①の実施により、各校、特色ある取組が実施され、高校教育の魅力化が図られた。 ②の機会として、7月8～9日に関し、益田未来協働フェスタ2022を開催した。					R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	②の成果として、約1,000名の参加があったものの、中学生の参加が少なく、発信機会のさらなる充実が必要。 ※小学生276名、中学生12名、高校生624名ほか						課題把握	B
	【対策】	益田市未来の担い手育成コンソーシアム高校教育魅力化部会において4校の連絡調整を図ることで、4高校が実施する高校魅力化の取組を小中学生に発信する機会のさらなる充実を図る。						対応策検討	B
積算根拠 (R5)	<p>○委託料 農業・モノづくり人材育成業務（翔陽高校）1,000千円 高度理数系人材育成支援業務（益田高校）1,000千円 中高一貫推進・魅力化発信業務（益田市未来の担い手育成コンソーシアム）3,000千円</p> <p>○負担金補助及び交付金 私立高校魅力化補助金（明誠高校、益田東高校）2,000千円</p>								
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	
	総事業費	7,614	7,000						
	国庫支出金	2,807	1,000						
	県支出金								
	地方債								
	その他	4,807	6,000						
	うち ふるさと応援基金								
	うち 地域振興基金								
	一般財源								
財源説明	国：地方創生推進交付金／その他：地方創生応援税制寄付金								

総合戦略事業シート							No.	⑮		
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業									
施策体系	横断・基本目標	Ⅱ. ふるさとを想う心にあふれた人が育つまち								
	基本施策	2. 地域・世代を越えた学習機会の創出								
	具体施策	③社会教育の推進と活動拠点づくり								
総合戦略	戦略体系	横断戦略_社会変化に対応できる持続可能なまちをつくる								
	主要施策	(1) 次代を担う人材の育成・確保の推進								
進捗管理	目標指標	公民館活動の参加者(うち、高校生以下の数)								
		R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 目標	R6 目標	R7 目標	R4/R7 達成率	
	目標				140,000 (24,447)	141,000 (24,534)	141,500 (24,621)	142,000 (24,708)	69.6% (61.6%)	
	実績	141,582 (18,691)	71,579 (12,427)	73,021 (12,620)	97,386 (15,056)					
具体事業	事業名称	公民館管理・拠点化推進事業費			担当部署	教育委員会協働のひとつづくり推進課				
事業概要	公民館が持つ機能を最大限に発揮することで、持続可能なひとつづくり・地域づくりを実現する。									
事業検証 (R4)	【現状】	保幼こ小中高特と地域の連携協働に関し、中学校区単位での世代を超えた学び合いの場において多くの公民館から職員の参加があり、地域における地域づくり・ひとつづくりの拠点である公民館の機能強化に寄与したものと考えられる。また、社会教育推進の重要な活動拠点である公民館において、「まずやってみる」という姿勢で活動に取り組むことを意識した結果、カタリ場へ参加した大人が主体となる公民館活動の数が大幅に増加した。						R4 に対する 自己評価	現状把握	B
	【課題】	新型コロナウイルス感染症の影響については落ち着いており、公民館活動の参加者数については増加に転じたものの目標には達していない状況である。							課題把握	B
	【対策】	社会教育活動のさらなる推進を図るため、安心して集まれるような風土づくりはもちろん、仕掛ける側も、新たな参加者を獲得するなど、工夫を凝らした事業を展開する必要がある。							対応策検討	B
積算根拠 (R5)	報酬122,124千円/職員手当等23,987千円/共済費23,836千円/旅費3,927千円/需用費18,376千円/役務費3,266千円/委託料7,885千円/使用料及び賃借料13,708千円/原材料費105千円/負担金補助及び交付金 9,325千円						費用対効果		B	
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間							
			第2期総合戦略対象期間							
		R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10		
	総事業費	210,930	226,539	217,299	217,299	217,299	217,299	217,299		
	国庫支出金	250	250	250	250	250	250	250		
	県支出金	500	500	500	500	500	500	500		
	地方債									
	その他	2,187	2,714	2,714	2,714	2,714	2,714	2,714		
	うち ふるさと応援基金	1,723								
	うち 地域振興基金									
一般財源	207,890	223,075	213,835	213,835	213,835	213,835	213,835			
財源説明	国：地方創生推進交付金/県：ふるさとひとつづくり推進事業補助金/その他：自動販売機取扱手数料、公民館利用料									

総合戦略事業シート							No.	⑬	
評価対象事業分類	(1) 目標指標達成根拠事業				(3) ふるさと応援基金充当・地方債活用事業				
施策体系	横断・基本目標	Ⅲ. 産業・観光振興による活力のあるまち							
	基本施策	5. 戦略的な観光の推進							
	具体施策	①観光地域づくりの推進							
総合戦略	戦略体系	基本戦略 1_定住の基盤となるしごとをつくる							
	主要施策	(4) 戦略的な観光の推進							
進捗管理	目標指標	益田市立歴史文化交流館の来館者数							
		R 1 実績	R 2 実績	R 3 実績	R 4 実績	R 5 目標	R 6 目標	R 7 目標	R 4/R 7 達成率
	目標	単 年				4,500	5,500	6,500	
	実績				-	-			
具体事業	事業名称	日本遺産ビジターセンター整備事業費			担当部署	教育委員会協働のひとづくり推進課			
事業概要	<p>【事業目的】 休館中の歴史民俗資料館について、市民やビジターが集う多機能拠点施設の整備を行うことで、歴史・文化を活かした持続可能なまちづくりの拠点とする。</p> <p>【事業内容】 多機能拠点施設として整備するために必要な建築物の改修及び設備の整備を行った。</p>								
事業検証 (R4)	【現状】	・工事完了 建築 (R4. 12. 9)、給排水設備 (R4. 12. 5)、電気設備 (R4. 12. 19)、空調設備 (R4. 12. 19) ・益田市立歴史文化交流館開館 (R5. 4. 1)					R 4 に対する 自己評価	現状把握	A
	【課題】	敷地内の駐車場は交流館と益田公民館が兼用しており、駐車台数が限られている。						課題把握	A
	【対策】	益田公民館及び収蔵庫は移転することが決定している。については、益田公民館及び収蔵庫を解体し、跡地を含め、駐車場として整備することとしたい。						対応策検討	A
積算根拠 (R5)	※歴史文化交流館整備事業費として以下、計上 ○工事請負費 収蔵庫解体工事 2,694千円 益田公民館解体工事 18,800千円 浄化槽埋立 500千円 駐車場舗装工事 3,000千円					費用対効果	B		
事業費 (単位:千円)		前年度 (実績)	中期財政計画対象期間						
			第2期総合戦略対象期間						
		R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R 10	
	総事業費	87,172	24,994						
	国庫支出金	40,257							
	県支出金								
	地方債	43,900	24,900						
	その他								
	うち ふるさと応援基金								
	うち 地域振興基金								
一般財源	3,015	94							
財源説明	過疎対策事業債								